

# 地域と地元指導者との連携による花育活動 「UR都市機構 賃貸住宅5団地での活動」

作成者：全国花育活動推進協議会 事務局

■ 対象者：団地住居者や自治会等（各30人程度）

■ 所要時間：1時間半～2時間程度

■ 対象場所：団地内の敷地

（花壇や壁面など協議の上決定）

■ 指導者：講師1名、アシスタント2名

（花育アドバイザー、ハンギングバスケット  
トマスター、グリーンアドバイザーなど）

■ 協力：独立行政法人都市再生機構

本事業の実施に当たっては、UR都市機構の5団地に参加をいただき、自治会等の協力のもと実施。



## 1. 事業の目的

花や緑の多様な機能に着目し、花や緑を教育・地域の活動で取り組みの推進を図り、幼児・児童・生徒の成長期において、花と緑に親しみ・育てる機会を提供する。

地域活動に、より花のある街づくりや植物を育てる活動が積極的に行われ、地域の環境整備などを通じて、花や緑を介した世代交流や地域のつながりを深める。

## 2. 実施内容(各団地2回開催)

・実施する内容については、自治会や参加者と協議を行い、各団地2回実施。

団地内の敷地や花壇などを活用して、花壇作りやイベント等でのワークショップ、集会所での講習会などを開催した。

・実施の予算については、1人当たり花材費・資材費500円程度とした。

## 3. 実施地域

- ・東日本支社 藤の台団地（東京都町田市）
- ・西日本支社 逆瀬川団地（兵庫県宝塚市）
- ・埼玉地域支社 プラザシティ新所沢（埼玉県所沢市）
- ・神奈川地域支社 サンヴァリエ日吉（神奈川横浜市）
- ・千葉地域支社 習志野台団地（千葉県習志野市）

## 4. 各団地の活動内容

## ■ 東日本支社 藤の台団地（東京町田市）

協力：UR都市機構 神奈川県地域支社、藤の台花の会

講師：日本ハンギングバスケット協会 東京支部 宇野知恵子先生

## 【実施スケジュール】

日程	内容
平成25年 8月27日	団地自治会、花の会との顔合わせ・打ち合わせ ・実施内容の決定
〃 10月中旬	花壇の土留めなどの土木工事終了（UR都市機構にて実施）
〃 11月16日	1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ） 「花壇作り（花苗の植え付け）」実施 参加者35名
平成26年 2月6日	2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ） 「春からの花壇作りについて」講習会 参加者20名

## 1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ）

日時：平成25年11月16日13：30～15：30「花壇作り（花苗の植え付け）」実施

場所：藤の台団地内花壇

藤の台団地では、「藤の台花の会」が団地内の共有花壇を管理・運営しており、花の会の協力を経て、既存の花壇1ヶ所と新設した花壇1ヶ所で花壇作りを実施した。

## ■ 事前の準備

- ・団地内の広報等でイベント告知を行い小学生や親子の参加を募集する。  
募集や告知については、花の会を主体として実施を行った。
- ・既存の花壇を活用して、秋から春頃まで楽しめる花を計画。花苗については、講師が準備・搬入を行った。

## □花材一覧

- ・ビオラ
- ・パンジー
- ・ストック
- ・ハボタン
- ・カレンデュラ
- ・シロタエギク
- ・メラルーカ
- ・コヤブラン
- ・ゴールドクレスト
- ・ヘデラ
- ・球根（チューリップ、ムスカリ）など



ビオラ、ストックなど、さまざまな花苗を講師が用意

## ■ 当日の流れ

①花壇の土は、肥料を入れて耕してならしておく。(藤の台花の会)



既存の円形花壇 (直径約150cm)



新設の長方形の花壇

②講師の宇野先生から花の名前や特徴、本日の作業内容や手順などを聞く。  
花の名前の由来などもわかりやすく解説。



左から、斉藤先生、坂井先生、宇野先生



花苗や植え方の説明

③花壇での花苗の植え付け

藤の台花の会の方々にお手伝い頂き、団地の子ども達と一緒に植え付けを行った。



<花壇の植え付け前と植え付け後>

既存の円形の花壇



before



after

「太陽の子ども達」をテーマに明るい色合いの花壇に。



<植え付け2ヵ月後の花壇>



新設した長方形の花壇



before



after

大人の色合いで、シックな花色でコーディネート。



花壇作成終了後に、花の会の方や希望者でペットボトルのハンギングを作成。  
作ったハンギングバスケットは、各町会のフェンスなどに飾り付けを行った。



## 2. 花育事業実施 第2回花育ワークショップ

日時：平成26年2月6日13：30～15：30「春花壇作り講習会」実施

場所：団地内「エルダーラウンジ」

第2回目は、11月に植え付けを行った花壇の今後の管理やより良い花壇を作るため、室内での講義を実施した。

### ■ 当日の流れ

#### ①花壇の植え付け後、約3ヶ月が経過。

花の様子や生育状況を踏まえて、今後の管理方法や今後の植えかえについての講習会を実施。

「魅力ある花壇作りを考える」

「かぶれる園芸植物について知っておこう」



#### ②藤の花の会の方から、植物についての多くの質問が寄せられ、熱心な質疑が続いた。





## ■ 西日本支社 逆瀬川団地（兵庫県宝塚市）

協力：UR都市機構 西日本支社、逆瀬川団地自治会

講師：日本ハンギングバスケット協会 兵庫県支部 稲澤範治先生

### 【実施スケジュール】

日 程	内 容
平成25年10月17日	団地自治会との顔合わせ・打ち合わせ ・実施内容の決定
〃 10月下旬～	花壇の新設整備を実施（UR都市機構にて実施） ※平成26年3月までに完成予定
〃 12月6日	1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ） 「花壇作り（花苗の植え付け）講習会」実施 参加者20名
平成26年 2月28日	2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ） 「花壇作り」実施 参加者40名

### 1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ）

日時：平成25年12月6日13：30～15：00「花壇作り（花苗の植え付け）講習会」実施

場所：集会所

逆瀬川団地では、自治会を中心に花壇の管理・整備が行われており、新しく入口近くに新設される花壇を活用させて頂き、今回の活動を実施することとなった。

花壇が、2月頃に完成を予定している為、植え付け前に「花壇作り」についての講習会を実施し、植物や土作りについての勉強を行うこととした。

## ■ 当日の流れ

①講師のハンギングバスケット協会 兵庫県支部長 稲澤先生から

「花壇づくり」について説明を受け、花壇作りに必要な事柄を学んだ。

### 講習内容

- ・花壇の土の準備
- ・土のリサイクルの仕方
- ・作りやすい花壇
- ・いろいろな花壇
- ・花壇づくりを楽しむ
- ・改良用土の種類と効用
- ・花をたわわに咲かせるには



逆瀬川団地集会所にて



## ②花壇予定地を視察

花壇予定地は、道路に面しており、団地の入口付近に位置しているため、日当たりが良く人目につく花壇である。

季節の移り変わりなどが感じられるような四季の花があると良い。

花壇を囲んで、人と人が会話を交わしたり、のんびりとくつろげるような空間となる。



10月頃の花壇予定地



12月6日講習会当日の花壇予定地

## 2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ）

日時：平成26年2月28日13：30～15：00「花壇作り」実施

場所：入口花壇

12月に実施した「花壇作り」講習会を踏まえて、花壇作りを実施した。近隣の幼稚園にもご参加をいただき、園児（年少）と自治会の方々と一緒に楽しく植え付けを行った。

## ■ 事前の準備

## ①完成した花壇

花壇に使用する土は、生育が良くなるように水はけ、水持ちなどを考慮して、腐葉土や川砂などを多く配合して改良を行った。



新設した花壇



②講師の稲澤先生からの作業内容についての説明や植栽についての説明

- 1年草
  - ・ピオラ
  - ・パンジー
  - ・ノースポール
- 樹木
  - ・サザンカ
  - ・シモクレン
  - ・レッドロビン
  - ・マユミ
  - ・ムクゲ
- 低木類
  - ・フィリフェラオーレア
  - ・マホニア“コンファーサ”



③花壇の植え込み部分の土の表面を平らにならす。

(土の表面を平らにすると、水が均一に浸透する。)



④植栽は、植付ける前に土の上に並べて配置を確認する。

確認ができたなら、大きな樹木を先に植える。



⑤幼稚園児は、1グループ4人程度で植付けを行い、大人がグループに1人から2人でサポートする。

園児が植えた後は、しっかりと土がかぶせられているか大人が確認すること。



- ⑥園児がポット苗を植え終わったら、大人が確認をしながら低木なども植えていく。



- ⑦植え付け後は、ホースやジョウロなどを使ってたっぷりと水を与える。  
花には、水が直接かからないようにして根元に与えること。  
水の量は、花壇の下まで水がしみ出るぐらいが目安。



花壇の植付けに参加いただいた、UR都市機構 西日本支社、逆瀬川団地自治会の皆さん、稲澤先生

## ■ 埼玉地域支社 プラザシティ新所沢（埼玉県所沢市）

協力：UR都市機構 埼玉地域支社、自治会

講師：日本ハンギングバスケット協会 埼玉県支部長 浅見敏枝先生、加藤美和子先生

### 【実施スケジュール】

日程	内容
平成25年 8月30日	現地集会所での関係者顔合わせ・打ち合わせ ・実施内容の調整
〃 9月20日	現地打ち合わせ ・実施内容詳細について確認
〃 10月19日	1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ） 「芝ぼうや作り」実施 参加者30名（親子含む）
〃 11月16日	2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ） 「花の寄せ植え作り」講習会 参加者30名（親子含む）

### 1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ）

日時：平成25年10月19日①10：30～11：15 ②11：30～12：15 「芝ぼうや作り」

場所：URプラザシティ新所沢けやき通り

まちかど広場・所沢警察署緑町交番前

多くの子供や親子に参加してもらえるように、URプラザシティ新所沢けやき通り まちかど広場で開催される「とこすた☆マルシェ」内のイベントとして開催した。  
小さい子供にも楽しんでもらえるプログラムとして「芝ぼうや作り」を実施した。

### ■ 事前の準備

・団地内の広報等でイベント告知を行い小学生や親子の参加を募集する。

募集や告知については、近隣の小学校にも協力をいただき募集案内を配布した。

### ■ 当日の流れ

① 屋外での開催の為、テントを設置しテーブルやイスなどを準備。

② 受付を設置し、参加者の出欠確認等を行った。



事前準備から、当日の受付まで  
お手伝いいただいた埼玉地域支社の皆さん



テント、テーブル、イスは自治会の備品

③テーブルには、汚れ防止用の新聞紙を貼り、各テーブルに道具や資材を1人分ずつ準備する。

※作り方については、「副読本：芝ぼうや」作りを参照



④講師の浅見先生と加藤先生による「芝ぼうや」作りの説明



加藤先生



テント内でのワークショップ風景



浅見先生

「芝ぼうや」



作成直後の「芝ぼうや」



約1週間～10日後



頭から芝の髪の毛が生えてくる

## 2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ）

日時：平成25年11月16日①13：30～14：30 ②14：45～15：45「花の寄せ植え作り」

場所：URプラザシティ新所沢けやき通り

### 集会所前

2回目の開催は、家でも花・緑を楽しんでもらえる内容として「花の寄せ植え作り」を実施した。作成した寄せ植えは、各家庭に持ち帰り観察をしながら育てる。

秋から春まで長く楽しめる「ビオラ」と「チューリップの球根」を植え付けた。

### ■ 事前の準備

- ・団地内の広報等でイベント告知を行い小学生や親子の参加を募集する。
- ・募集や告知については、近隣の小学校にも協力をいただき募集案内を配布した。

### ■ 当日の流れ

①集会所前のテラスにテーブルやイスなどを準備。

②「花の寄せ植え作り」の花材や資材を準備。

- ・ビオラ 2ポット
- ・チューリップの球根2個
- ・プランター ・培養土
- ・肥料 ・鉢底ネット
- ・土入れ（ペットボトルで作成）
- ・油性ペン（名前を書く）

③講師の先生から花や植え方の説明。

- ・片方の手で、しっかりと苗の根元を押さえ、花苗を逆さまにしてビニールポットを引き抜く。
- ・プランターに3～5cm程度の培養土を入れて、花苗を置き根元までしっかりと培養土を入れる。

④出来上がった寄せ植えには、作った日付とメッセージを書き大切に育てる。





「花の寄せ植え作り」に参加いただいた団地の皆さん

⑤各家庭に持ち帰り、月に一度観察を行う

～花育～「フラワープランターを作りましょう」

名前

住所

今日から、自分だけのオリジナル「フラワープランター」を大切に育ててくださいね。大切に世話をすると5月まできれいな花が楽しめます。月に1回、花の成長を観察して「観察の記録」を付けましょう。来年の1月まで記録したら「観察記録」を先生に送ってください。質問や困ったことなども書いてくださいね。

電話

※先生からの返信を希望される場合は、住所を記入。

	平成25年11月16日(土) 11/16 桜葉	平成25年12月16日(月) 12/16 瑞穂	平成26年1月16日(木) 1/16 瑞穂
先生からのコメント	ピオラと球根を植えました。早くお花がたくさん咲くといいですね。	ピオラを植えてから1カ月がたちました。お花のよさずはどうかでしょうか？いくつかの葉がさいているかな？	ピオラを植えてから2ヵ月です。葉が大きくなりました。はじめより大きくなっていますか？がんばってお世話をしましょう。
書きをほりましょう			
花や植物の様子	今までいろいろな花を植えたがピオラは初めてです。植え終った花が白の紫の咲いています。2月まで咲いてほしいです。	花が1月以上に咲いて1株か2株のくらい咲くか楽しみです。	11月21日株も大きくなり花もいっぱいになりました。12月まで白2/咲き紫3/咲きました。
育てた感想	咲き終り株を茶から取り次の花が又出て咲いてほしいです。少し花がさびしくなりました。	次々に咲いて嬉しいです。	こんなに楽しんで居たことです。頑張ったの芽が出てくるのがとても嬉しいです。ありがとうございました。
アドバイザーのイラスト			

<呉読者の方へ>  
 今後の花の管理などのご質問などがございましたら、当協議会までお問い合わせください。  
 また、月に1回の栽培記録の記入をしていただき、1月まで書き終えたら2月10日頃までに返信用封筒に同封の上、当協議会宛てにお送りください。ご協力をお願いいたします。先生からの返信やアドバイスを記入して返信いたします（返信先のご住所をご記入ください）。  
 栽培記録の送付は、メールでも可能です。記載用フォーマットがありますので、右記のメールアドレスまでお知らせください。

<お問い合わせ先>  
 全国花育活動推進協議会 事務局 星宛  
 〒103-0004東京都中央区東日本橋3 6 17 4号  
 電話：03-3664-8739 FAX:03-3664-8743  
 mail: jfbcs@fpo.or.jp



## ■ 神奈川地域支社 サンヴァリエ日吉（神奈川横浜市）

協力：UR都市機構 神奈川地域支社、サンヴァリエ日吉自治会、横浜市立下田小学校

講師：日本ハンギングバスケット協会 神奈川支部 安田秀子先生

### 【実施スケジュール】

日程	内容
平成25年10月21日	現地集会所での関係者顔合わせ・打ち合わせ ・実施内容の調整
〳 12月7日	1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ） 「ペットボトルハンギング作り」実施 参加者20名
〳 11月16日	2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ） 「芝ぼうや作り」講習会 参加者20名（親子含む）

### 1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ）

日時：平成25年12月7日①10：30～12：00 ②13：30～15：00

「ペットボトルハンギング作り」実施

場所：集会所内

実施に当たり、団地内の花壇なども検討したが、既存の花壇などの使用が難しい為管理センターのフェンスを飾る「ペットボトルハンギング」を作成することになった。身近なペットボトルのリサイクルとしても活用できるため、自宅のベランダなどでも楽しめる。

管理センターフェンス  
ハンギングバスケットを設置予定場所



### ■ 事前の準備

- ・団地内の広報等でイベント告知を行い小学生や親子の参加を募集する。  
募集や告知については、近隣の小学校にも協力をいただき募集案内を配布した。

## ■ 当日の流れ

- ①集会場に、イベント開催のチラシなどを準備する  
会場内のテーブルの上には、資料や資材を配布しておく。



- ②講師の安田先生から作り方の説明  
・ペットボトルを使ってハンギングの容器を作成する。

※作り方は、副読本「ペットボトルハンギング」作り参照。



ペットボトルで作ったハンギング容器



- ③作成した、容器に花苗を植え付ける。  
(屋外で作業する)

## □花材

- ・ビオラ 2ポット
- ・シロタエギク 1ポット



④床が汚れない様に、新聞やビニールシートを敷き作業をする。



⑤花苗の植え付けが終わったら、ペットボトルの上からゆっくりと水やりをする。ペットボトル容器の下から、水が出るまで十分に水やりをする。



⑥しっかりと水やりが終わったら飾り付ける。



出来上がったペットボトルハンギング



花育ワークショップ開催にご協力いただいた皆さん  
サンヴァリエ日吉自治会長黒田さん（左から三番目）  
講師 安田秀子先生（中央）  
UR都市機構神奈川支社の皆さん

## 2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ）

日時：平成26年3月9日①10：30～12：00 「芝ぼうや作り」講習会

場所：集会所内

子供や親子が楽しめる内容として「芝ぼうや」作りを実施した。

団地内での募集と合わせて、小学校でも参加募集を行った為、団地外の小学生からも参加があった。

### ■ 当日の流れ

①集会場に、イベント開催のチラシなどを準備する。

会場内のテーブルの上には、資料や資材を1人分ずつ配る。

講師の安田先生から作り方の説明



②芝ぼうやの顔や洋服の模様は、用意したフェルトやモールなどを使って自由にデザインする。

笑った顔やおどろいた顔など様々な表情の芝ぼうやを作ると面白い。



③出来上がった「芝ぼうや」

家に持ち帰ったら、バケツに水をためて、頭の部分を入れ30分程度吸水させる。

十分に頭に水がしみ込んだらペットボトルの体に、頭を設置して、日当りの良い場所に置く（7日～10日ほどで頭から芝が芽を出す）。



## ■ 千葉地域支社 習志野台団地（千葉習志野市）

協力：UR都市機構 千葉地域支社、習志野台団地自治会、花愛好会

講師：ちば・花緑の会 望田明利先生、山口まり先生

### 【実施スケジュール】

日程	内容
平成25年10月9日	現地集会所での関係者顔合わせ・打ち合わせ ・実施内容の調整
〃 10月下旬	既存花壇の土の入れ替え完了
〃 12月14日	1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ） 「花壇作り・花の植え付け」実施 参加者30名
平成26年 2月23日	2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ） 「土と肥料の話」講習会 参加者20名

### 1. 花育事業実施（第1回花育ワークショップ）

日時：平成25年12月14日10：30～12：00 「花壇作り・花の植え付け」実施

場所：習志野台団地内花壇

習志野台団地では、日頃から積極的な花壇の維持管理が行われており、市内のコンテスト等にも積極的に参加をしさまざまな賞を受賞している。今回は、ツツジ等が植栽されていた既存の花壇を活用し、土を花苗用に入れ替えて新しく花苗を植える活動を実施した。

### ■ 事前の準備

- ・団地内の広報等でイベント告知を行い参加者を募集する。  
募集や告知については、花の会を主体として実施を行った。
- ・既存の花壇を活用して、秋から春頃まで楽しめる花を計画。花材については、講師が準備・搬入を行った。



既存の花壇（ツツジなどが植えられていた）



枯れた植栽を抜き取り、土の入れ替えを行った  
（UR都市機構にて実施）

自治会が花壇に、開催の告知と参加募集のPOPを設置して参加者を募集。



## ■ 当日の流れ

①ビオラ・チューリップの球根などの花材は講師が準備し、搬入。



②デザイン画を元に、花壇内に植栽位置の印を付けていく。



③印の上にポット苗を配置して、全体のバランスを確認する。







④講師の山口まり先生のビオラの説明と植え方の説明。



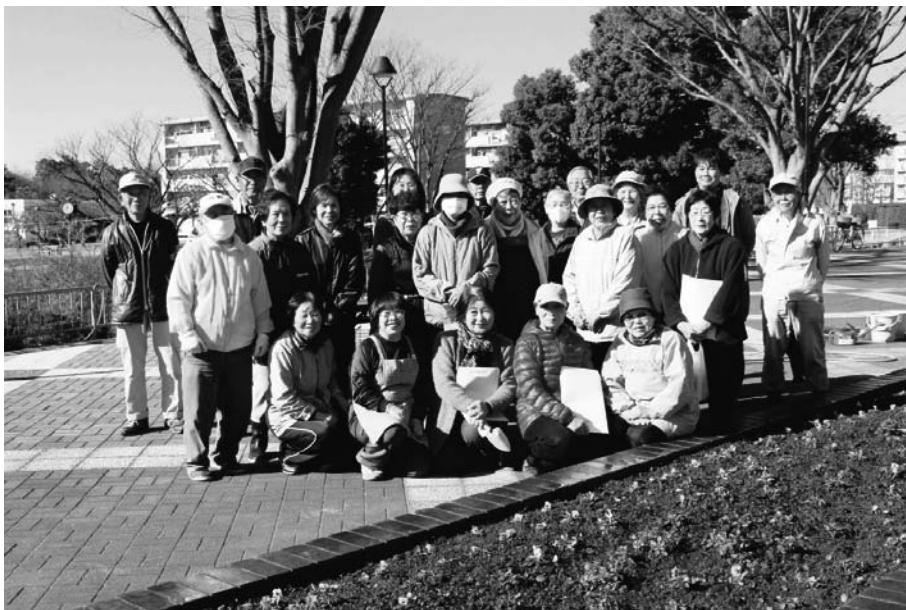
⑤参加者によるビオラの植え付け  
ビオラの中に、チューリップの球根を植える。



⑥植え付けが終わったら、たっぷり水を与える。



⑦バケツやジョウロ、掃除用のほうきなど。



植え付けにご参加いただいた、UR都市機構千葉支社、習志野台団地自治会の皆さんと講師の先生

## 2. 花育事業実施（第2回花育ワークショップ）

日時：平成26年2月23日13：30～15：00「土と肥料の話」講習会

場所：団地内の集会所

12月に植付けをしたビオラも順調に生長をしている。花壇作りの要となる「土」や花壇の植栽についての勉強会を行った。

## ①講師の望田先生による「土と肥料の話」講習会。

- ・園芸用土の基礎知識
- ・土と植物の関係
- ・用土の種類
- ・鉢土の再生法 など



## ②講習会には、自治会の方をはじめ花愛好会の多くの方々の参加があり、植物の管理方法などの質問が寄せられた。



## ③講師の山口先生による寄せ植えの植物の選び方や色合せのテクニックのワンポイントレッスン。

- ・植物の名前と出身地を知る
- ・植物の性質を知る



## <花壇の植え付け後の生長の様子>



平成25年12月14日の花壇



花壇のプレート



植え付け後約3ヵ月後の花壇



ビオラが大きくなり、チューリップが咲きはじめた。

